

冬季避難訓練（1月23日）

冬の時期に地震・火事が起きた場合に備えて、避難訓練を実施しました。

夏の頃と同じように、ボイラー室横に整列する子供たちの姿が今日もありました。集まるのも早く、これまでの避難訓練の積み重ねが活着ているように感じました。しかし、よく見ると、夏の避難と違い、気を付けなければならないことも見えてきました。

雪が降ったため、避難経路が狭く細長くなっていました。手袋をはずずにポケットに手を入れている子もいました。あわてたり、小走りしたりすると滑って転び、けがをしたり、周囲の子を巻き込んだりしてしまうかもしれません。

防寒具を着けずに集合している子も見えました。早く集まるためにはよいかもしれませんが、本当に火災が起きた時、大丈夫でしょうか？避難場所に長く留まることも考えられます。

「・・・かもしれない」と、自分や周囲のことを想像し、自分の頭を働かせて身を守るための判断ができるといいですね。教室での振り返りはどうだったでしょうか？



「冬休み作品展」で紹介された本を互いに見合っています。保護者の皆様もぜひご覧ください。

1年生が、スケートのひも結びを練習しています。「お父さんプロジェクト」のいすが丁度いい感じですね。1年生は27日からスケート学習がスタートします！

